

高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第28週 （7月8日～7月14日）

★県内での感染症発生状況

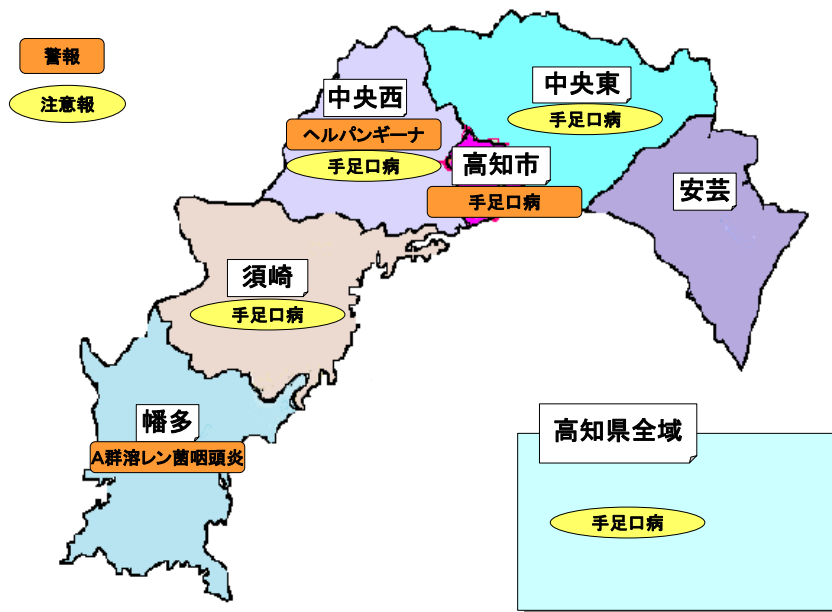
インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所別の傾向
新型コロナウイルス感染症	▲	19.80	須崎、中央西で急増、高知市、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症	▲	4.28	中央西で急減、須崎で減少していますが、幡多、中央東、安芸で急増、高知市で増加しています。
手足口病	▲	3.48	須崎、幡多、安芸で急減、高知市、中央西で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	▶	2.84	須崎、高知市、中央西で減少していますが、安芸で急増、幡多、中央東で増加しています。
感染性胃腸炎	▶	2.64	安芸、中央東で減少していますが、須崎で増加しています。

<推移の基準>

急増	▲	前週と比較し、2倍以上の場合
増加	▲	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合
横ばい	▶	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合
減少	▲	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
急減	▲	前週と比較し、0.5倍未満の場合

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

★感染症予防の基本

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

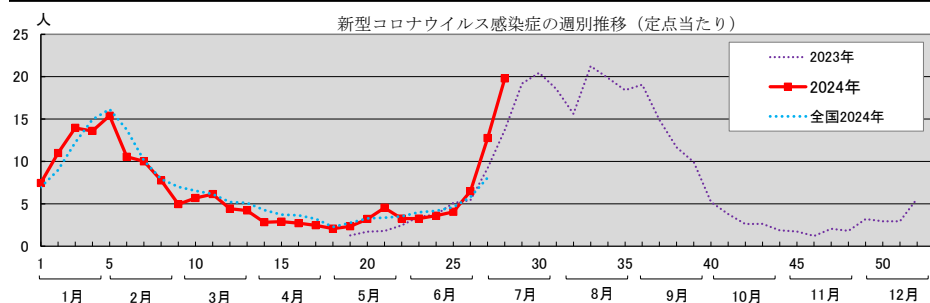
- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

★県内で注目すべき感染症 ～注意点や予防方法～

新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関からの報告数

週数	新規感染者数	定点当たり感染者数
第 24 週 6/10～6/16	158	3.59
第 25 週 6/17～6/23	178	4.05
第 26 週 6/24～6/30	285	6.48
第 27 週 7/1～7/7	561	12.75
第 28 週 7/8～7/14	871	19.80



第28週は、新規感染者数、定点当たり感染者数とも前週から倍増し、2023年と酷似した増加傾向となっています。

・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

●予防方法・注意点

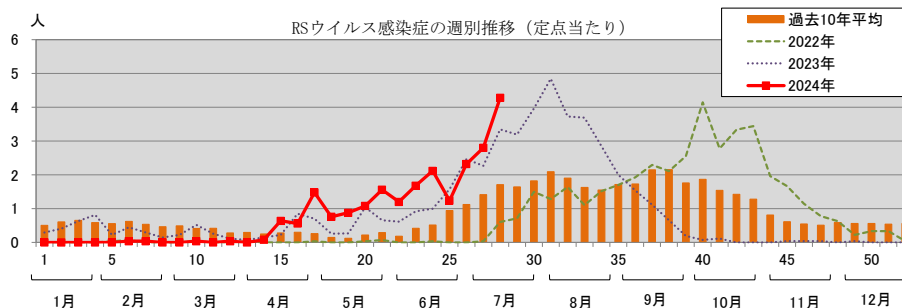
- *手洗い、十分な換気、密接、密集、密閉といったいわゆる「三密」を避けるなどの基本的な感染対策をお願いします。
- *医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い方々が集まる場所を訪れる場合は、当該施設の定めるルールに従い、必要に応じてマスクを着用するようお願いします。
- *発熱等の症状のある方はマスクを着用して出勤や登校を控え、医療機関への受診（特に高齢者・基礎疾患を有する方）又は自己検査を推奨します。
- *軽微な症状での救急外来の受診や救急要請を控え、判断に迷う場合は「高知家の救急医療電話」（#7119）や「こうちこども救急ダイヤル」（#8000）への相談などにより、救急医療、救急搬送への負担軽減にご協力をお願いします。

●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過（発症日を0日目とカウント）し、かつ、症状が軽快した後1日を経過（軽快した日を0日目とカウント）するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。

RS ウイルス感染症

この病気は2～8日（通常4～6日）の潜伏期間の後に軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多いため、気が付かずに感染源となることがあります。また、慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者では急性の重症肺炎をおこす原因となるため、高齢者福祉施設では集団発生への注意が必要です。



●予防方法

＊咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

＊子どもが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系消毒薬などで消毒しましょう。

＊現在、60歳以上を対象としたワクチンがあります。

＊以下の対象者については、遺伝子組換え技術を用いて作成されたモノクローナル抗体製剤であるパリビズマブの投与があります。RSウイルス感染症の流行初期に投与し始めて、流行期も引き続き1か月毎に筋肉注射することにより、重篤な下気道炎症症状の発症の抑制が期待できます。なお、パリビズマブ製剤の投与は保険適用となっています。

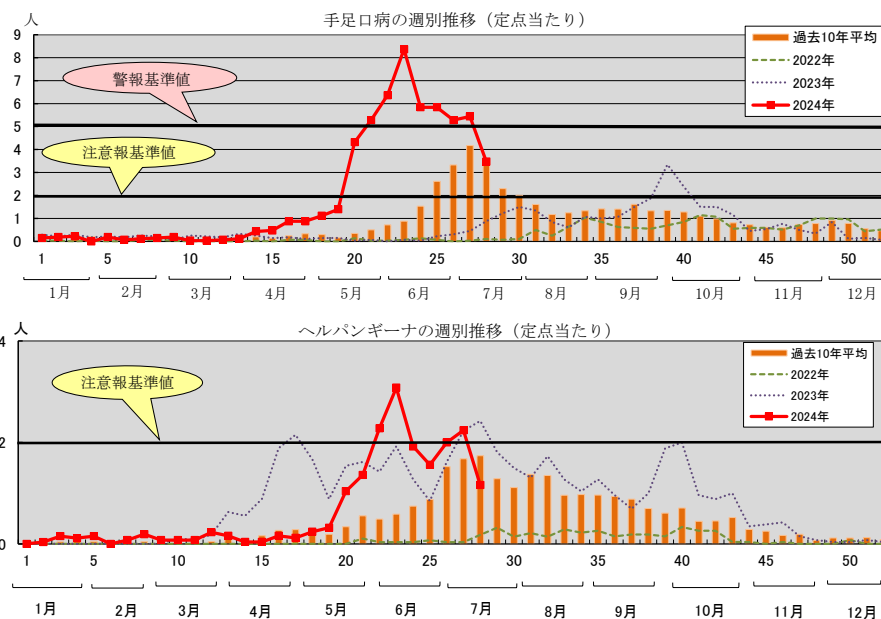
- ・在胎期間28週以下の早産で、12カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・在胎期間29～35週の早産で、6カ月齢以下の新生児及び乳児
- ・過去6カ月以内に気管支肺異形成症の治療を受けた24カ月齢以下の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の血行動態に異常のある先天性心疾患の新生児、乳児及び幼児
- ・24カ月齢以下の免疫不全を伴う新生児、乳児および幼児
- ・24カ月齢以下のダウン症候群の新生児、乳児および幼児

夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ）

手足口病は、通常、3～5日の潜伏期の後、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。ほとんどは数日間のうちに治ります。ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71（EV71）で、その他、コクサッキーウイルスA10などが原因になることもあります。コクサッキーウイルスA6に感染した場合、手足口病の症状が消失してから1か月以内に、一時的に手足の爪が脱落する症例も報告されていますが、自然に治るとされています。

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- ＊手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ＊タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ＊エンテロウイルスは回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

手足口病・ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物がSFTSウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。

ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- 野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- 虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- 野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	33	20 歳代 女性	中央東
		1		70 歳代 男性	
		1		80 歳代 女性	
5 類	梅 毒	1	22	30 歳代 男性	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ノロウイルス感染症 1 例
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染症 1 例（1 歳女） ノロウイルス感染症 1 例（9 歳男）
	JA 高知病院小児科	マイコプラズマ 3 例 COVID-19 6 例 ノロウイルス 1 例 カンピロバクター 1 例
	野市中央病院小児科	COVID-19 5 例 （7 か月女、1 歳女、10 歳男、12 歳男、14 歳男）
高知市	けら小児科・アレルギー科	サルモネラ 07 腸炎 1 例（8 歳） ノロウイルス腸炎 9 例 COVID-19 36 例 マイコプラズマ肺炎 1 例（18 歳）
	三愛病院小児科	マイコプラズマ感染症 1 例（10 歳男）
	近森病院内科	インフルエンザ B 型 1 例
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 14 例 ヘルパンギーナ 3 例 溶連菌感染症 1 例 COVID-19 24 例 RS ウイルス感染症 5 例
	細木病院小児科	RS ウイルス感染症 6 例 溶連菌感染症 11 例 手足口病 5 例 COVID-19 4 例
中央西	くぼたこどもクリニック	COVID-19 36 例 手足口病 5 例 ヘルパンギーナ 13 例
須 崎	もりはた小児科	RS ウイルス感染症 7 例（1 歳未満 5 人） 溶連菌感染症 7 例減少傾向 COVID-19 25 例と増加（学校閉鎖有）
幡 多	こいけクリニック	アデノウイルス咽頭炎 1 例（1 歳女） マイコプラズマ肺炎 2 例（5 歳女、8 歳男） マイコプラズマ感染症 2 例（9 歳女、12 歳女）
	さたけ小児科	マイコプラズマ 2 例（9 歳女、13 歳男） RS ウイルス 10 例（0～2 歳） 溶連菌 25 例（1～14 歳） COVID-19 5 例（2～14 歳）
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 1 例（5 歳男）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2024 年 7 月 16 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

定点名 (定点数)		保健所 地域名						第28週 令和6年7月8日(月)～令和6年7月14日(日)		高知県衛生環境研究所			
所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(27週)	高知県(28週末累計) R6/1/1～R6/7/14	全国(27週末累計) R6/1/1～R6/7/7	
インフル エンザ (COVID- 19(4))	インフルエンザ		2	1			10	13 (0.30)	6 (0.14)	1,395 (0.28)	9,493 (215.75)	1,146,670 (232.45)	
	新型コロナウイルス感 染 症	47	179	267	180	106	92	871 (19.80)	561 (12.75)	39,874 (8.07)	8,413 (191.20)	876,481 (177.68)	
	咽 頭 結 膜 炎		4	6			1	11 (0.44)	18 (0.72)	2,111 (0.67)	359 (13.81)	73,734 (23.53)	
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭 炎	1	5	18	3	7	37	71 (2.84)	85 (3.40)	10,707 (3.41)	2,557 (98.35)	334,231 (106.68)	
	感 染 性 胃 腸 炎	7	8	40		3	8	66 (2.64)	71 (2.84)	12,393 (3.95)	2,233 (85.88)	415,740 (132.70)	
	水 痘						1	1 (0.04)	1 (0.04)	715 (0.23)	87 (3.35)	13,764 (4.39)	
	手 足 口 病	1	12	56	7	5	6	87 (3.48)	136 (5.44)	35,960 (11.46)	1,422 (54.69)	146,757 (46.84)	
	伝 染 性 紅 斑							()	()	319 (0.10)	13 (0.50)	3,270 (1.04)	
	突 発 性 発 疹	1	2	2			1	6 (0.24)	7 (0.28)	949 (0.30)	169 (6.50)	21,317 (6.80)	
	ヘルパンギーナ	2	2	7	13	1	4	29 (1.16)	56 (2.24)	6,754 (2.15)	474 (18.23)	24,888 (7.94)	
	流行性耳下腺炎				1	1		2 (0.08)	()	214 (0.07)	13 (0.50)	3,561 (1.14)	
	RSウイルス感染症	1	17	51		7	31	107 (4.28)	70 (2.80)	5,044 (1.61)	571 (21.96)	71,631 (22.86)	
眼科(3)	急性出血性結膜炎							()	()	21 (0.03)	()	371 (0.53)	
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	()	438 (0.63)	12 (4.00)	11,100 (15.99)	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							()	1 (0.13)	8 (0.02)	8 (1.00)	241 (0.50)	
	無菌性髄膜炎							()	()	11 (0.02)	1 (0.13)	295 (0.61)	
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 (0.50)	2 (0.25)	235 (0.49)	47 (5.88)	2,119 (4.41)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	()	()	23 (0.05)	
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)							()	1 (0.13)	6 (0.01)	12 (1.50)	225 (0.47)	
計 小児科定点当たり人数)		60 (18.25)	231 (26.42)	452 (39.14)	204 (57.00)	130 (38.50)	192 (35.00)	1,269 (35.30)		117,154	25,884 (710.72)	3,146,418	
前 週 (小児科定点当たり人数)		63 (20.50)	153 (18.30)	417 (38.51)	110 (35.25)	92 (34.25)	180 (32.26)		1,015 (30.65)				

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関) 定点当たり人数

定点名 (定点数)		保健所 地域名						第28週		高知県衛生環境研究所			
疾病名		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前 週	全国(27週)	高知県(28週末累計) R6/1/1～R6/7/14	全国(27週末累計) R6/1/1～R6/7/7	
インフル エンザ (COVID- 19(4))	インフルエンザ		0.20	0.07			1.25	0.30	0.14	0.28	215.75	232.45	
	新型コロナウイルス感 染 症	11.75	17.90	19.07	45.00	26.50	11.50	19.80	12.75	8.07	191.20	177.68	
	咽 頭 結 膜 炎		0.67	0.67			0.25	0.44	0.72	0.67	13.81	23.53	
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭 炎	0.50	0.83	2.00	1.50	3.50	9.25	2.84	3.40	3.41	98.35	106.68	
	感 染 性 胃 腸 炎	3.50	1.33	4.44		1.50	2.00	2.64	2.84	3.95	85.88	132.70	
	水 痘						0.25	0.04	0.04	0.23	3.35	4.39	
	手 足 口 病	0.50	2.00	6.22	3.50	2.50	1.50	3.48	5.44	11.46	54.69	46.84	
	伝 染 性 紅 斑									0.10	0.50	1.04	
	突 発 性 発 疹	0.50	0.33	0.22			0.25	0.24	0.28	0.30	6.50	6.80	
	ヘルパンギーナ	1.00	0.33	0.78	6.50	0.50	1.00	1.16	2.24	2.15	18.23	7.94	
	流行性耳下腺炎				0.50	0.50		0.08		0.07	0.50	1.14	
	RSウイルス感染症	0.50	2.83	5.67		3.50	7.75	4.28	2.80	1.61	21.96	22.86	
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.03		0.53	
	流行性角結膜炎			1.00				0.33		0.63	4.00	15.99	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								0.13	0.02	1.00	0.50	
	無菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.61	
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.50	0.25	0.49	5.88	4.41	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.05	
	感 染 性 胃 腸 炎 (ロタウイルスに限る)								0.13	0.01	1.50	0.47	
計 (小児科定点当たり人数)		18.25	26.42	39.14	57.00	38.50	35.00	35.30			710.72		
前 週 (小児科定点当たり人数)		20.50	18.30	38.51	35.25	34.25	32.26		30.65				

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報 (55定点医療機関)														2024年 28w									
定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	インフルエンザ	13				1	1	3	4	3											1		
COVID-19(44)	新型コロナウイルス感染症	871	3	6	7	4	4	13	8	9	6	15	8	74	45	49	73	79	100	91	126	151	

定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上		
小児科 (25)	咽 頭 結 膜 熱	11		1	5	2		2										
	A群溶血性レンサ球菌咽 頭 炎	71			3	9	9	6	8	6	7	6	6	11				
	感 染 性 胃 腸 炎	66			4	9	10	7	4	2	1	3	3	4	16	1	2	
	水 痘	1						1										
	手 足 口 病	87	1	11	39	14	8	3	5	4	1	1						
	伝 染 性 紅 斑																	
	突 発 性 発 疹	6		2	3	1												
	ヘルパンギーナ	29		2	3	7	6	5	2	1		2	1					
	流 行 性 耳 下 腺 炎	2													2			
RSウイルス感染症	107	5	18	38	29	10	2	4						1				

定点 (定点数)	病 名	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
眼科(3)	急性出血性結膜炎																				
	流行性角結膜炎	1																1			

[illegible]

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第28週)

